



System Storage EXP3000 クイック・スタートのガイド

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、IBM® System Storage™ EXP3000 に付属の *IBM Documentation* CD に収められている「*IBM Machine Type 1727 保証およびサポート情報*」の『IBM 保証の内容と制限』をお読みください。

IBM System Storage EXP3000 は、米国連邦通信委員会 (FCC) クラス A の制限に準拠しています。詳細については、*IBM Documentation* CD に収められている「*IBM System Storage EXP3000 インストール、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」の『電波障害自主規制特記事項』を参照してください。

EXP3000 をセットアップするには、以下の手順を実行します。より詳細な情報については、「インストール、メンテナンスおよびユーザーのガイド」を参照してください。



危険

システムまたはシステムの周囲で作業する場合は、以下の予防措置を守ってください。

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 付属の電源コードのみを使用して、この装置を電源に接続してください。付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- どの電源機構アセンブリーも開いたりサービスを行ったりしないでください。
- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品のインストール、メンテナンス、再構成を行わないでください。
- 本製品には複数の電源コードが装備されている場合があります。危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源コードを切り離してください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧および相回転が、システム定格プレートに記載の通り適切に供給されていることを確認してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置を、正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- インストール手順および構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置のインストール、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の手順の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (他に特別な指示がない限り)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします (他に特別な指示がない限り)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードをコンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

1. EXP3000 に付属の *IBM Documentation* CD に収められている安全上の注意を読みます。
2. EXP3000 をラック・キャビネットにインストールします。EXP3000 に付属の「*IBM ラックのインストールの説明*」を参照してください。

3. 両方の電源機構に電源コードを接続します。ただし、EXP3000 の電源をオンにしないでください。
EXP3000 に付属のラック・ジャンパー電源コードは、IBM ラック電力配分装置 (PDU) に接続されます。EXP3000 を IBM PDU に接続しない場合は、国特有の電源コードを別途購入する必要があります。
4. シリアル接続 SCSI (SAS) ケーブルの一方の端を、EXP3000 の背面にある環境サービス・モジュール (ESM) の In (↑) コネクタに接続します。この SAS ケーブルは別途購入する必要があります。SAS ケーブルのもう一方の端を、RAID コントローラーの SAS Out コネクタに接続します。このコントローラーが、「チェーニング」による複数の EXP3000 の接続をサポートする場合、追加の EXP3000 をケーブル接続することができます。これを行うには、SAS ケーブルの一方の端を EXP3000 内の ESM の Out (↓) コネクタに接続し、もう一方の端を別の EXP3000 内の ESM の In (↑) コネクタに接続します。詳細については、「インストール、メンテナンスおよびユーザーのガイド」のケーブル接続情報のセクションを参照してください。
5. 4 個から 12 個の IBM ハード・ディスクを EXP3000 にインストールします (まだインストールしていない場合)。

重要: 両方の電源機構が冗長モードで作動するには、最大 4 個のハード・ディスクのインストールが必要な場合があります。

6. EXP3000 の背面にある両方の電源機構の電源をオンにします。
7. ホスト RAID コントローラーがインストールされているシステムの電源をオンにします。(EXP3000 の電源は、必ず、RAID コントローラーがインストールされているシステムより前、またはそれと同時にオンにする必要があります。)
8. ホスト RAID コントローラー上の管理ソフトウェア・インターフェースにより、EXP3000 ごとに ID を設定できます。(デフォルトで、コントローラーによって 1 つの ID が提供されます)。EXP3000 ID が設定 (または要件に合わせて再設定) された後、右前ベゼルに ID ラベル・ステッカーを貼ることができます。詳細については、「インストール、メンテナンスおよびユーザーのガイド」を参照してください。

IBM および System Storage は、IBM Corporation の商標です。

第1刷 2007.6

© Copyright International Business Machines Corporation 2006. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2007

(1P) P/N: 44E7971

